

CHALLENGE21



チャレンジ21/1999年7月15日発行/第1巻第7号(通巻7号)/発行:全国障害者福祉援護協会



会場を埋めた参加者



講師 坂上讓二様



パネラー(左から石川直源氏、川嶋昭宣氏、土師修司氏、森山志郎氏、永田理事長)

150名が参加! ノーマライゼーションについて 講演会とパネルディスカッションを開催!!

全国障害者福祉援護協会が「ノーマライゼーション」の講演とパネルディスカッションは6月19日午後1時より横浜ラポールで開催されました。主催は神奈川県労働者福祉協議会(労福協)、神奈川県労働文化センター、そして全国障害者福祉援護協会の3団体共同主催。後援は神奈川県、横浜市、川崎市、連合神奈川、神奈川新聞社、TVKテレビ。会場には朝からの雨にもかかわらず横浜市内外から障害者、健常者ら定員オーバーの150名の参加者が集まりました。

室谷千英神奈川県副知事の挨拶は以下の通りですが、講演会とパネルディスカッションの詳しい内容についてはは次号(8号)に掲載させていただきますのでご了承ください。

「ノーマライゼーション」の講演とパネルディスカッションは6月19日午後1時より横浜ラポールで開催されました。主催は神奈川県労働者福祉協議会(労福協)、神奈川県労働文化センター、そして全国障害者福祉援護協会の3団体共同主催。後援は神奈川県、横浜市、川崎市、連合神奈川、神奈川新聞社、TVKテレビ。会場には朝からの雨にもかかわらず横浜市内外から障害者、健常者ら定員オーバーの150名の参加者が集まりました。

室谷千英副知事

室谷千英神奈川県副知事の挨拶は以下の通りですが、講演会とパネルディスカッションの詳しい内容についてはは次号(8号)に掲載させていただきますのでご了承ください。

「ノーマライゼーション」の講演とパネルディスカッションは6月19日午後1時より横浜ラポールで開催されました。主催は神奈川県労働者福祉協議会(労福協)、神奈川県労働文化センター、そして全国障害者福祉援護協会の3団体共同主催。後援は神奈川県、横浜市、川崎市、連合神奈川、神奈川新聞社、TVKテレビ。会場には朝からの雨にもかかわらず横浜市内外から障害者、健常者ら定員オーバーの150名の参加者が集まりました。

室谷千英副知事

室谷千英副知事

障害者と健常者の共生を考える

「ノーマライゼーション」の講演とパネルディスカッションは6月19日午後1時より横浜ラポールで開催されました。主催は神奈川県労働者福祉協議会(労福協)、神奈川県労働文化センター、そして全国障害者福祉援護協会の3団体共同主催。後援は神奈川県、横浜市、川崎市、連合神奈川、神奈川新聞社、TVKテレビ。会場には朝からの雨にもかかわらず横浜市内外から障害者、健常者ら定員オーバーの150名の参加者が集まりました。

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事

室谷千英副知事



中山律子プロが一人一人を指導

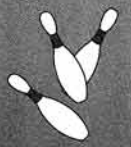


永田理事長により表彰される優勝者 市塚康広さん(右)

**第1回
ボウリング大会開催(5月15日)**

視覚障害者と晴眼者、
総勢112名が参加。

女子プロボウラー
**中山律子さんと一緒に
投げた、ストライクだ!!**



(社)横浜市視覚障害者福祉協会(浜視協) 会員の視覚障害者28名を招いて、晴眼者と共に行われた第1回ボウリング大会は女子プロボウラー中山律子さんの指導ありサポートあり、大成功でした。またゴルフ大会同様多くの方々から賞品を提供(別掲)していただき参加者全員がもれなく受け取ることができ、大変喜んでいただきました。



中山律子プロ

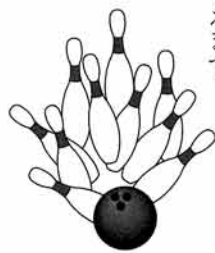
当協会のチャリティ・スポーツイベントであるゴルフ大会を春と秋、年に2回実施してきましたが、今春は趣向を変え、障害者と共に手軽に参加できるボウリング大会に変えて実施しました。

会場となった新横浜プリンスホテル・ボウリングセンターの協力をいただき、午後3時、女子プロボウラー中山律子さんのサポートで浜視協副会長の猪狩五郎さんと一緒に始球式を行ったあと、律子さんの華麗なフォームを披露していただきました。28の各レーンには必ず1名の視覚障害者が加わるようにチームが編成され、視覚障害者28名、晴眼者84名、総勢112名でにぎやかにゲームを楽しみました。晴眼者は視覚障害者へスタートの位置、ピン方向などをアドバイス。中山律子

賞品をご協賛して頂いた皆様です

- ・(株)愛木工業
- ・朝日生命保険相互会社
- ・伊藤ビル
- ・NKK
- ・NKK京浜労組
- ・NKK本社労働組合
- ・NKK労働組合連合会
- ・NTT労働組合神奈川県支部
- ・NPプランニング
- ・大塚ペパレジ(株)
- ・(有)オフ企画
- ・神奈川県労働金庫
- ・かもめサービス
- ・川崎フロンターレ
- ・キリンショッピングサークル事務局
- ・(株)三和電業社
- ・(株)しょういん
- ・(株)しょういん横浜
- ・(株)シンプル
- ・(株)セレビス
- ・全労済神奈川県本部
- ・(株)タカラ
- ・東京コカ・コーラボトリング
- ・東京国際通信(株)
- ・東芝機器(株)
- ・トヨタ自動車労働組合
- ・日本鋼管工事(株)
- ・日本コカ・コーラ(株)
- ・(株)豊和トラベルサービス
- ・三國コカ・コーラボトリング(株)
- ・(株)ミツハシ
- ・(株)村上義一商店
- ・森敏明後援会
- ・ユニマットコーポレーション
- ・(株)横浜エージェンシー
- ・連合神奈川

＝ ありがとうございます ＝



さんは各レーンを回りひとりひとりにワンポイントアドバイスをしていました。

優勝者は2ゲームの総得点数382点を獲得した視覚障害者の市塚康広さんでした。

今回の企画は健常者と障害者が遊びを通してお互い触れあい、コミュニケーションを図るなどまさに「ノーマライゼーションの理念」に沿った大変意義のあるイベントであり、今後もこうしたイベントを続けていきたいと考えます。



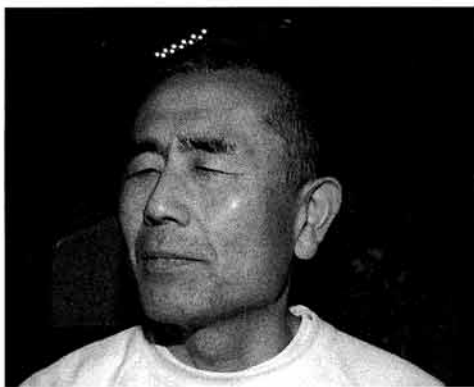
健常者と障害者のコミュニケーション

今回参加された方の中から晴眼者を代表して横井葉月さん、視覚障害者を代表して上杉惇さんから感想文を頂きましたのでここに紹介いたします。



「ボウリング大会に参加して」

横浜市視覚障害者福祉協会
上杉 惇



私たち視覚障害者28名が健常者のボウリング愛好者と共に、楽しいひとときとふれあいの機会を得ることができましたのは、全国障害者福祉援護協会の関係者とそれを支えてくださる後援団体やスポンサーの皆さんの暖かいご支援によるものと、ここに深く御礼と感謝を申し上げます。

視覚障害者は自分たちではボウリングをする機会をつくれませんし、その機会はほとんど得られません。そこで今回は、企業などから大勢の方々が同じレーンで障害者の一人ひとりを援助し、交流していただき、私たちの希望が十分になえられたものと思います。

私自身のことにはふれませんが、私は16レーンでプレイしました。メンバーはNKKK本社勤務の小西「征」さん、池田喜郎さん、藤井久敬さんと私の4人のチーム編成です。交替で私の援助をしてくれます。靴と、ボウルを選んでもらい、投げる準備をしました。ボウルの穴に私の指をもつていき、私がそれを持ち、片方の手でサポーターの肘をつかみます。ファールラインのそばまでいき、ラインを確かめ、立つ方向を教えてもらったところでサポーターは離れます。

全盲は助走ができませんから、その場で前方のピンを目指して投げます。その結果は見えていたサポーターが「真ん中から右側が倒れ、左側が残ってますよ、あと4本倒せばスベアになります」と、細かく説明してくれます。2投目はチョット左側に立って投げてみます。運良く4本とも倒れ、思いがけないスベアがとれて、思わずガッツポーズ。レーンの仲間から「斉に「ヤッター」のかけ声とともに拍手喝采を受けました。

このときの感動はいつまでも身体全

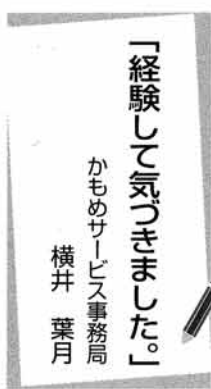
体にみなぎり、しばらくの間、興奮は消えませんでした。もちろんプレイ中こんなことは滅多にないことでした。ガーターあり、3点しかとれないこともありました。しかし結果としては、1ゲーム目は91点十ハندی80点、2ゲーム目は70点十ハندی80点、合計321点。これは112人中7位という好成績を得ることができました。私の成績を祝ってくれたわが16レーンの3人にお礼を述べゲームは終了しました。

最後にゲーム中、女子プロボウラーの中山律子さんがレーンに廻ってきて、私を励まし投げ方の指導をしてくださったことを付け加えておきます。ありがとうございました。



「経験して気づきました。」

かもめサービスマ事務局
横井 葉月



去る5月に行われたチャリティ・ボウリング大会に、会社の先輩と2人で参加させていただきましたが、本当にいい経験ができたと思います。私自身、ボランティア活動には多少興味を持っていたものの、どう接



していいのかわからなかったり、自分の周りの友達と同じように、本当に心から通じ合えるのかという不安を抱いていました。しかし、永田理事長とお話させていただいたときに、「何でも経験するのが一番ですよ」という言葉をいただいて勇気が出たので、今回はじめてのボランティア活動でしたが、あまり緊張せずに楽しむことができました。

私のグループは、弱視の女性の方が一緒でした。ご本人は「少しは見える」とおっしゃっていたので、手取り足取りのお手伝いをする必要はなかったのですが、どこまで見えていて、どこから見えないのかこちらにはわからない分、声をかけるのに躊躇することもありました。「聞かれたときだけ答えればいいのかでもそれでは

無視しているのと同じではないか」などと、いちいち気にしてばかりいて、逆に相手の方が気を使ったことと思います。また、ボウリングに夢中になってピンの位置を覚えてあげるのを忘れてしまったり、スコア状況を説明せずに健常者だけで騒いでしまったりと、帰ってきてからあれもこれもと反省すべき点がたくさん出てきました。普段だったら説明しなくても共有できる情報が、目が見えないというだけで、こんなにも食い違ってくるということをはじめと痛感させられました。

また、大会に参加する前は「目の見えない人がボウリングなんて」と思っていました。皆さんが楽しんでいる姿を見て、自分が偏見を持っていたことを恥ずかしく思いました。今回このようなイベントに参加して、自分自身の考え方を改めることができたことは、本当によかったです。視覚障害者の方に楽しんでいただけたかどうか、いまでも自信がありませんが、これからのような活動に積極的に参加していきたいと思えます。



講演会

労働組合がリードする ノーマライゼーションとは……

講師 森山志郎 (片マヒ自立研究会 主宰)



関東地方労組生産性会議定例研修会にてノーマライゼーションの講演会を行いました。

森山さんは55歳の定年を迎えた1年後に脳梗塞で倒れ、右半身不随と言語障害のため2級障害者となる。リハビリを続けながら障害と戦い片マヒ自立研究会を主宰。研究会を実施する傍ら執筆活動や各方面で講演をするなど、現在69歳の森山さんは多忙の毎日を送られています。

関東労生加盟労働組合幹部を対象に丸の内NKKK本社大会議室にて講演会が行われました。永田理事長の挨拶に続き、森山志郎さんを講師に迎え、「労働組合がリードするノーマライゼーションとは」と題して講演をしていただきました。

片マヒ自立研究会では障害を負った人たちの社会復帰、特に復職に関する問題を取り上げるものが多く、実際に復職した人の実例を数多く発表しています。講演では森山さんご自身の体験を交えながら、高齢化社会とバリアフリーや復職の問題を労働組合

健康管理の失敗

が積極的に取り組んでほしいなど、労働組合の幹部が一堂に会した研修会にふさわしい話をされています。講演の主な内容は以下の通りです。

私の若い時代は定年になっても、3年すればお迎えがくる時代でした。今のように定年後の生活設計、老後の問題など考えることもなく、野放図な消費生活を送り、また中間管理層に加わるプレッシャーにより強いストレスに晒され、その当然の帰結として定年1年後にぱったりと体調を崩したのでした。

私が発病したときに非常に幸運だったのは、医療の専門家がそばにいて、直ぐ専門病院に入院ができ、適切な初期治療を受けることができたことです。初期治療のこの幸運がないと、同じ病気をしても取り返しのつかないことになります。そこで皆様にお勧めしておきたいことは、皆さんの勤め先、自宅に、専門医師がいつでも診察に対応でき、診断に必要な機器をそろえている、

信頼の置ける病院を平素から確保しておくことです。そして万一救急車で運ばれたとき、自分の責任で病院を指定してください。

健康管理の基本は自己管理しありません。「健康管理は会社の仕事」と会社に任せるのではなく、個々の組合員の幸福基盤には個々の労働者の健康があるのだ、というのを「動機づけ」にして、対策を考えて実行してほしいのです。

障害者になって ―絶望と再起

昨日まで元気に活動して来た人間が、突然具合が悪くなり、一晩寝たら手も足も動かない。1週間すれば退院できると思ったのに、3週間4週間1ヶ月経っても変わりがない。右手だけに頼って生



森山志郎氏

社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください

この潤いが
小さな社会貢献へ

この自動販売機は、利益の一部が下記団体へ寄付されます。

全国障害者福祉援護協会

理事長 永田 達 045-411-0294(TEL)

このステッカーを貼った自動販売機を設置します。



JAPAN KINDNESS

ジャパン・カインドネス協会

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がジャパン・カインドネス協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。

是非この機会にJK協会指定の自動販売機の設置に、ご協力をお願い申し上げます。



全国障害者福祉援護協会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL:045-411-0294(代) FAX:045-411-0295

きてきた人間に「これからは右手も右足も使えないよ、そんな人生をどうやって生きていけば良いのか」俄かに答えようがありません。

それから15年たった今、ようやく障害を得ないと見えない世界があることを知り、平成3年にリハビリの体験を奮闘記「歩けた！手が動いた」として上梓しました。

私が見出した新しい世界とは「お習字」の世界のことです。ここにありませんのは今年の書展で「特選」になった作品で篆書といえます。現在ふつうに使っている「漢字」の前の段階が「隷書」で、その前が「篆書」です。左手しか使えないけれど、私にはこんな世界があることを皆様方に「なるほど」と知っていただければ、と思います。

禅の世界とお付き合いができて「少欲知足」の実践を知りました。これは人間の欲望を際限なく広げる生き方と違って、この欲望をコントロールして必要最小限に止める代わり、豊かな満足を図る、という思想です。

バリアフリーの提言

高齢化社会を迎え高齢者自身、どこまで自立して生活して行けるかが問題になります。ところが本人はどんなに自分の意志で行動で

きる自由な生き方を望んでも、社会的、物理的なバリアが沢山あって妨げていることを知ります。

今日、特に労働組合の皆様にも申し上げたいのは、皆さん方はそれぞれに各地方、各地域に工場や事業所があります。場所によっては企業城下町といわれる町もあるでしょう。そういう各地方地方に、バリアフリーという観点での街の整備を働きかけて欲しいのです。

歳をとつても安全に暮らせる街づくり、歳をとつても自由に利用できるような公共の交通機関の整備。こんなことを皆様のお力で、一つでも一つでも実現してください。そうすれば皆様は80歳になる頃、日本の大半がバリアフリーの街になるでしょう。そして日本の社会も少しずつ明るい将来が見えてくると思っています。

復職の問題

最近の成人病の傾向として、脳卒中の死亡率が急速に低下しています。これは発病した人が減つたのではなく、障害者として生きる人が増えたことを意味しています。つまり脳卒中で死ぬ人が減つてきた分だけ、皆様の職場に戻る人が増えてきていることです。

私が片マヒ自立研究会をやつて

いますと、復職をしたいのにどうしても会社が承知してくれない、と悩みを打ち明ける方がたくさんいます。現在の厳しい経済環境で、一人でも無駄な人員を減らしたい気持ちには分かりますが、でも、この本人の後ろには家族がいます。現在は法律でいろいろな経費の助成をして負担の減少を図つたり、雇用率の縛りを設けたりしています。復職する人も健康で働く人と同じ水準の賃金が欲しいとは言っています。運悪くたまたまその人生の担い手が病気になる。皆様の仲間から病人が出た。その時は是非職場に戻してあげて欲しいのです。来るべき高齢化社会に備えた制度や慣行を考えてください。

ノーマライゼーションを目指して

ノーマライゼーションは一度に完成するものではありません。皆様方の仲間や運悪く障害を負った人が出てきても、安心して一緒に「共生」して生きることを実現から始めなければなりません。そこに初めて、日本のノーマライゼーションにも明るい展望が開けていくと思います。

皆様を通じて多くのの人々に少しでも私の考えをお伝えできれば、そしてそれが少しでも実現の方向に行けば、これほど喜びとすることはありません。

長時間ありがとうございました。



森山 志郎 プロフィール (片マヒ自立研究会 主宰)

- 昭和 4年 大分県中津市生まれ
- 昭和28年 九州大学法学部卒業
- 同 年 古河鋳業(株)入社
- 昭和38年 同社閉山業務完了のため退社
- 同 年 旭化成工業(株)入社
- 昭和63年 同社定年退職
- 平成 3年 「歩けた！手が動いた」を上梓
- 平成 4年 片マヒ自立研究会創立
- 平成 8年 「左手の隷書」が表書展で秀作賞を授与
- 現在 まで 看護学会成人病部会のバネラー
看護教育大学、医療技術大学、全国保健婦研修会の講師
各地保健所、福祉課、社協等主催の後援会
「看護」「公衆衛生」などの寄稿
研究会の開催と各種資料の作成と発行

明るい未来のために「ロッキー号」を走らせよう！



ふれ愛サポート
定期預金

ロッキー

ふれ愛サポート定期預金《ロッキー》は、県内の福祉団体等に
福祉車両「ロッキー号」を寄贈するための資金源として活用する定期預金です。

お問い合わせは
神奈川県労働金庫

フリーダイヤル
0120-48-2828

《ロッキー》は
こんな定期預金です。

- お預入れ期間 / 1年
- 金額 / 50,000円以上
- 定期預金の種類 / スーパー定期(300)、大口定期
- 金利 / 店頭表示金利でお預かりします。



ボランティア活動報告

障害者の介助・イベント運営のスタッフとして登録要員の皆様と活動を行っております。

横浜市身体障害者囲碁将棋大会(2月7日)



審判をするボランティア

横浜市健康福祉総合センターで将棋と囲碁の大会が行われました。競技者は聴覚障害、視覚障害、肢体不自由と様々な審判として囲碁将棋のわかる方にボランティアとしてお手伝いいただきました。5名の審判により10時から始まった大会はスムーズに進行し、表彰式を最後に終了いたしました。

視覚障害者誘導の講演と実技(3月27日)

3月27日(土)浜視協(横浜市視覚障害者福祉協会)主催の歩行技術研修会に参加してきました。

この日は浜視協の会員である視覚障害者15名とボランティア13名が集まり、横浜市総合リハビリテーションセンター生活指導員・大庭氏の指導で行われた「上手な歩行、誘導の仕方、受け方」をテーマにした研修会でした。

午前は歩行の意義・目的、視覚障害者の誘導法など基礎的な内容についての講義を聴き、午後からは桜木町駅と横浜駅の往復コースで、実際に電車乗降の実技を行いました。音声の出る券売機での切符の買い方や危険の多いホームでの移動や電車の乗降など、晴眼者にとって日頃気が付かない事を体験し、また視力が低下し白杖を初めて持つ方にとっては歩行訓練の必要性などを知ることができました。今回の研修会は視覚障害者、ボランティアそれぞれの立場で多くの事を学ぶことができた大変良い企画でした。



屋外での視覚障害者誘導

伊勢原大山ハイキング (5月30日)

5月30日午前10時半、神奈川県伊勢原市日向薬師バス停に視覚障害者とボランティアが集合。大山ハイキングと共に楽しんできました。ハイキングと聞いて最初は平坦な所を散策するものと想像していたけれど、目的地までの山道は狭く至る所に岩がごろごろとしてちよっと緊張した山登りでした。



伊勢原大山ハイキング

視覚障害者と一緒には鳥の声を聞き新緑の香りを愉しみながら登った大山ハイキングは普段あまり体験できないボランティア活動の1日でした。

市長杯卓球大会(6月27日)

視覚障害者による恒例の市長杯盲人卓球大会がライトセンターで行われました。白熱したゲームを観戦しながら得点表記入や競技者の誘導などのお手伝いを当協会ボランティア会員としてきました。

関東大会出場の前選ということもあって、選手は真剣そのもの。耳を頼りに鉛玉の入った音の鳴るボールを打ち返

えしていくため、歓声はおろか拍手は禁止。静かな会場ではジャラジャラとボールの転がる音だけが響いていました。



全員がアイマスクをして競技する

かもめサービスより寄付をいただきました



永田近理事長と青田吉弘社長

かもめサービスが97年の秋にスタートした「かもめのライフ社会貢献カード」。このクレジットカードは知らず知らず社会に善意を還元できるようなこと、買い物をする手数料の一部が福祉基金にプールされる仕組みになっています。そして去る4月、かもめサービスの青田吉弘社長が当協会を訪れ、永田理事長へ寄付されました。

人生の節目には、保障を見直そう。

「こくみん共済」は「ここがちかり」という点がたくさんあります。負担が少なく、大きな保障が得られる。保障範囲がワイド、手軽に申込み手続きができるなど。全労済ならではの加入者の立場に立った思いやりが信頼され、全国のたくさんの方々には選ばれています。あなたも、選ばれる理由をじっくり確かめて、暮らしの安心を育てませんか。



人にやさしく。地球にやさしく。



全労済は「自然環境」と「高齢者」のための活動・研究を応援しています。

「保障の共済」だから、ね。

全労済神奈川県本部
045-473-6031
〒222 横浜市港北区新横浜2-4-9

全労済



45、000人の署名に協力。横聴協より感謝状を授与されました。



感謝状

「聴覚障害者を差別する法律改正」の100万人署名運動に当協会も取り組もうと働きかけたところ、45、000人の署名が集まりました。これを3月に行われた神奈川県手話フェスティバルの会場にて永田理事長より野沢克也様(神奈川県聴覚障害者連盟副理事長)に手渡されました。その後6月27日、「横浜市聴覚障害者の集い」にて感謝状をいただきました。

「NPO法人」設立認定申請書が経済企画庁に受理されました

当協会ではかねてより懸案でありました法人格取得について、特定非営利活動促進法(NPO法)の規定に沿って、5月14日に経済企画庁に設立認定申請書を提出し受理されました。法人格の取得を契機に社会福祉の発展に向けて、なお層努力をしてまいります。

特定非営利活動促進法(NPO法)とは...

近年、福祉、環境、国際協力、街づくりなどさまざまな分野に置いて、ボランティア活動をはじめとした民間の非営利団体による社会貢献活動が活発化し、その重要性が認識されています。現在、これらの団体の多くは、法人格を持たない任意団体として活動しています。そのため、銀行で口座を開いたり、事務所を借りたり、不動産の登記をしたり、電話を設置するなどの法律行為を行う場合は、団体の名で行うことができません。このNPO法はこれらの団体が法人格を取得する道を開いて、不都合を解消しその活動の健全な発展を促進し、公益の増進に寄与することを目的としています。



野沢克哉氏(右)に署名を渡す

署名は会員や理事の皆様にご協力して集めていただきましたが、中でも連合神奈川の皆様からの多大なる協力があって45、000人という膨大な数になりました。連合神奈川の皆様をはじめご協力していただきました会員、理事の皆様改めて感謝申し上げます。

手話教室に120名の応募

協会設立当初より始めています手話教室。回を重ねるごとに多くの人に参加されるようになり、また講習内容が充実しているといったように、評判も良いようです。2月1日よりスタートした第5回手話教室(中級コース)では「よこはま広報」「神奈川新聞」「読売新聞」各紙に応募告知が掲載されたせいもあってか、30名定員のところ120名の応募がありました。応募者は圧倒的に女性が多く全体の9割を占めています。年齢層は10代から60代と幅広く手話人気の凄さに驚かされます。今回の教室は7月5日に全20回の課程を修了いたします。次

回第6回手話教室は9月6日から始まります。詳細は別掲の募集要項をご覧ください。



手話教室の様

「第6回手話教室~中級コース」受講生募集中!!

今回募集する中級コースは初級を完全にマスターし、1年以上の経験者を対象とします。ただいま受講生を募集しておりますので、ご希望の方は当事務局へお申し込みください。

お申込・お問合せ先
全国障害者福祉支援協会 事務局
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル4階
TEL:045-411-0294 FAX:045-411-0295

第6回手話教室(中級コース)募集要項

日時	平成十二年九月六日 〜平成十二年七月五日 毎週月曜日(全10回) 午後七時〜九時
会場	かながわ県民センター (横浜駅西口徒歩五分)
協力	(社)横浜市聴覚障害者協会
募集人数	三〇名(手話経験一年以上の方対象)
受講料	二一、〇〇〇円 (全10回・テキスト代含む)
申込方法	住所氏名、年齢、性別、電話番号、手話経験歴をご記入の上、往復ハガキにて当事務局までお申し込みください
申込締切	八月十六日まで

簡便・省資源&経済的・清潔・安全

キンチャク式ゴミ袋 むすべるくん



このゴミ袋の売上金の一部は「全国障害者福祉支援協会」を通じて障害者福祉に役立てられています。

〈お問い合わせは〉



実用新案登録番号 第3004299号
株式会社 キンチャク
Tel:03-5776-1656 Fax:03-5776-1659



ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を
順次で紹介いたします。

- | | | | |
|------------------|----------------------|-------------------|----------------------|
| ●(有)アールアンドエー | ●興南設計(株) | ●東京電力労働組合神奈川総支部 | ●(有)藤間企画 |
| ●(株)愛木工業 | ●(株)岡南リリーフ | ●東芝労働組合 | ●ブリヂストン労働組合 |
| ●旭硝子労働組合 | ●小松製作所労働組合 | ●東邦薬品(株) | ●平和交通(株) |
| ●(有)アベニューホーム | ●(株)サーヴ | ●東北日商(株) | ●ベターライフテレビ(株) |
| ●(株)アルプス | ●医療法人直源会 相模原南病院 | ●(株)富世 | ●(株)ベルホール |
| ●石川島播磨重工労働組合 | ●(株)サンエープロセス | ●トヨタ自動車労働組合 | ●法輪葬祭(株) |
| ●(株)伊藤ビル | ●(株)三巧 | ●(株)長野リサイクル | ●(株)マーク・テック |
| ●(株)エイセキ | ●(株)三和電業社 | ●日青鋼業(株) | ●松岡興産(株) |
| ●(株)エーディーエー | ●(株)ジェイ・エスエス | ●日本鋼管福山製鉄所労働組合 | ●(株)マネジメントサービス |
| ●NKK | ●(株)しょういん | ●日本携帯電話サービス(株) | ●丸全昭和運輸労働組合協議会 |
| ●エヌケーケープラント建設(株) | ●(株)しょういん横浜 | ●日本健康ファミリー共済 | ●総合商社マルチュウ(有) |
| ●NTT労組神奈川支部 | ●湘南交通(株) | ●日本コカ・コーラ(株) | ●三井造船労働組合連合会 |
| ●(有)エヌティープランニング | ●(有)湘南百貨店三島店 | ●日本鋼管京浜製鉄所労働組合 | ●連合・造船重機労連・三菱重工労働組合 |
| ●(株)大熊整美堂 | ●新日本製鐵労働組合連合会 | ●日本鋼管工事(株) | ●(株)村上義一商店 |
| ●岡田会計事務所 | ●(株)シンプル | ●日本鋼管鶴見労働組合 | ●(株)メイク スライプ |
| ●神奈川県労働金庫 | ●鈴江コーポレーション(株) | ●日本鋼管津労働組合 | ●(株)メイショウ |
| ●川崎製鉄健康保険組合 | ●住友重機械労働組合連合会 | ●日本鋼管本社労働組合 | ●安田産業(株) |
| ●川崎製鉄労働組合連合会 | ●全国グリーン共済会 | ●日本鋼管労働組合連合会 | ●(株)有徳社 |
| ●川田建設(株) | ●全国造船重機械労働組合連合会神奈川地協 | ●日本鉄鋼産業労働組合連合会 | ●(株)ユニオン |
| ●関東オートグラス(株) | ●全日産・一般業種労働組合連合会 | ●日本労働組合総連合会神奈川連合会 | ●横浜環境保全(株) |
| ●キリンビール労働組合 | ●全民懇ボランティア基金 | ●浜本建設工業 | ●(株)リアルエステート・エイジェンシー |
| ●(有)クオーク | ●全労済神奈川本部 | ●日立製作所労働組合 | ●竜童建設(株) |
| ●(株)クラスター | ●(株)創土社 | ●日の丸交通(株) | ●ワークス横浜(株) |
| ●クリーン・ワールド(株) | ●多摩川ハイヤー(株) | ●(株)フォーバル総合研究所 | ●(有)ワールド・ネット・システム |
| ●鋼管ドラム(株) | ●(有)ディーキャット | ●不二交通(株) | ●(株)ワイエムツーインターナショナル |
| ●交通労連関東地方総支部 | ●(有)デュオ | ●富士交通(有) | |

全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

編集後記

30名定員のところ120名の応募があった手話教室。それならば1クラスだけではなく同時に2クラス3クラス開講すればと考えるのだけれども、それにはスタッフが少なすぎる。それにもましてもっと問題なのは手話を教えられる講師の数が足りない。手話を使うろう者全員が教えられるとは限らないからである。多くの健聴者に手話を覚えてもらい、手話通訳士が育ってくれることはとても良い事だけれども、現在、手話のできない難聴者や中途失聴者も教えていかなければならない、といった問題があるようだ。
T.S.

法人会員 1口 5,000円/月
個人会員 1口 1,200円/月

指定の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。
お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局

TEL:045-411-0294
ヨイヒト ワラクシ



CHALLENGE21第7号

発行者:全国障害者福祉援護協会

編集人:永田 近

発行日:1999年7月15日 第7号

所在地:〒221-0835

横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル
TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295

定 価:200円

シンポジウム・イベントの開催

各種イベント等を通じ、ノーマライゼーションの理念の普及を行います。



ボランティア活動の支援

ボランティア活動に参加・支援します。



障害者団体への寄付

障害者団体等への、寄付を定期的に行います。



各種研究活動

バリアフリー社会を目指し、障害者用の住宅、公共施設等の研究活動を行います。



高齢者福祉活動

高齢化によって障害をもった方への福祉活動を行います。



広報活動

広報誌の発行、出版等を行います。



広報